

# 江戸川大学 学報

## 江戸川短期大学

## - 目次 -

関係法令	1
学内規程	2
人事	2
主要日程	7
諸報	9
決算報告	13

### 関係法令

#### 【政令】

文部科学省組織令の一部を改正する政令(政令第94号)(文部科学省)

平成18年3月30日交付、平成18年4月1日施行  
私立学校振興助成法施行令の一部を改正する政令(政令第102号)(文部科学省)

平成18年3月30日交付、平成18年4月1日施行

#### 【省令】

専修学校設置基準の一部を改正する省令(文部科学省令第1号)

平成18年3月1日公布、施行

学校教育法施行規則の一部を改正する省令(同第5号)平成18年3月30日交付、平成18年4月1日施行  
文部科学省組織規則の一部を改正する省令(同第7号)平成18年3月31日交付、平成18年4月1日施行  
学校教育法施行規則等の一部を改正する省令(同第11号)平成18年3月31日、平成19年4月1日施行  
大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則(同第12号)

平成18年3月31日交付、平成18年4月1日施行  
私立学校法施行規則の一部を改正する省令(同第17号)平成18年3月31日交付、平成18年4月1日施行  
私立学校教職員共済法施行規則の一部を改正する省令(同第18号)

平成18年3月31日交付、平成18年4月1日施行  
学校教育法施行規則の一部を改正する省令(同第22号)平成18年3月31日交付、平成18年4月1日施行

#### 【告示】

我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を定める件の全部を改正する件(文部科学省告示第1号)平成18年1月12日公布、施行

私立博物館における青少年に対する学習機会の充実

に関する基準第2条に規定する基準を満たしている博物館を認める件(同第21・22号)

平成18年2月20日交付

科学研究費補助金取扱規程の一部を改正する件(同第37号)

平成18年3月27日交付、平成18年4月1日施行

学校教育法施行規則第63条の4の規定により、別に定めることとされた学修について定める件の一部を改正する告示(同第38号)

平成18年3月30日交付、平成18年4月1日施行

学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準の一部を改正する件(同第43号)

平成18年3月31日交付

学校法人の寄附行為等の認可申請に係る書類の様式等の一部を改正する告示(同第44号)

平成18年3月31日交付

大学、短期大学、高等専門学校等の設置の際の入学定員の取扱い等に係る基準の一部を改正する告示(同第51号)

平成18年3月31日交付、平成18年4月1日施行

大学の設置等の認可の申請手続等に関する規則附則第4項及び第5項が適用される場合の第3条第1項の認可申請書その他の書類の様式及び提出部数を廃止する告示(同第52号)

平成18年3月31日交付、平成18年4月1日施行

大学の設置等の認可申請に係る書類の様式及び提出部数を廃止する告示(同第53号)

平成18年3月31日交付、平成18年4月1日施行

学校教育法施行規則第73条の21第1項の規定による特別の教育課程について定める件の一部を改正する件(同第54号)

平成18年3月31日交付、平成18年4月1日施行

大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者を指定する件の一部を改正する件(同第55号)

平成18年3月31日交付、平成18年4月1日施行

私立博物館における青少年に対する学習機会の充実に関する基準第2条に規定する基準を満たしている博物館を認める件(同第58号)

平成18年4月17日交付

## 学内規程等

### 【江戸川大学規程等改正】

学則(18.4.1 施行)  
 教育組織規程(同施行)  
 教授会規程(同施行)  
 学科委員会規程(同施行)  
 学生部規程(同施行)  
 事務局の文書処理簿及び原議書の様式並びに文書名  
 義者及び専決者の制定について(別記様式第2)(同施  
 行)  
 教員の初任給・昇任・昇給に伴う俸給決定基準(同  
 施行)  
 学生指導委員会規程(同施行)

### 【江戸川大学規程等制定】

転学部・転学科規程(18.4.1 施行)

### 【江戸川短期大学規程等改正】

事務局の文書処理簿及び原議書の様式並びに文書名  
 義者及び専決者の制定について(別記様式第2)  
 (18.4.1 施行)

## 人 事

### 【平成17年度退職者】

大学教員(18.3.31 付)  
 社会 人間社会 高山 眞知子 教授  
 " " 天野 徹 助教授  
 " 環境デザイン 向仲 顯 教授

### 【平成18年度採用者】

大学教員(18.4.1 付)  
 メディアコミュニケーション 情報文化 古里 靖彦 教授  
 社会 経営社会 澤井 和彦 助教授  
 " 経営社会 小田原 由佳 助教授  
 メディアコミュニケーション マス・コミュニケーション 内藤 和明 助教授  
 社会 人間心理 木村 文香 講師

### 【平成18年度再任用】

大学教員(18.4.1 付)  
 メディアコミュニケーション マス・コミュニケーション 市村 佑一 教授

### 【平成18年度人事異動】

大学教員(18.4.1 付)  
 委嘱 社会学部長 帆足 興次(任期2年)  
 " メディアコミュニケーション学部長 市村 佑一( " )  
 " 図書館長 村田 眞雄(任期1年)  
 " 人間心理学科長 柴田 良一(任期2年)  
 " ライフデザイン学科長 斗鬼 正一( " )  
 " 経営社会学科長 榎本 勉( " )  
 " マス・コミュニケーション学科長 篠田 豊( " )  
 " 情報文化学科長 村田 眞雄(任期1年)  
 " 教務部長 茅野 廣行(任期2年)  
 " 学生部長 新井 正彦( " )  
 " 入試・広報センター長 青野 丕緒( " )  
 " 社会科学研究センター 広瀬 一郎( " )  
 " 語学教育研究所長 加藤 忠明( " )  
 " 情報環境研究所長 向仲 顯(任期1年)  
 " 教務部次長 阿南 透(任期2年)  
 " 学生部次長 吉田 正人( " )  
 " 入試・広報センター次長 残間 義和( " )  
 昇任 教授 吉田 正人  
 " 教授 小林 至  
 " 教授 松村 豊子  
 " 教授 石田 義明  
 " 助教授 守屋 志保  
 特任教授 新規 高山 眞知子  
 " 新規 向仲 顯  
 " 任用更新 市川 昌  
 配置換 社会 人間心理 宇野 正人  
 " 社会 人間心理 上瀬 由美子  
 " 社会 人間心理 黒崎 輝人  
 " 社会 人間心理 柴田 良一  
 " 社会 人間心理 高澤 則美  
 " 社会 人間心理 平山 満紀  
 " 社会 人間心理 松田 英子  
 " 社会 人間心理 荒谷 大輔  
 " 社会 ライフデザイン 阿南 透  
 " 社会 ライフデザイン 伊藤 勝  
 " 社会 ライフデザイン 親泊 素子  
 " 社会 ライフデザイン 大内 田鶴子  
 " 社会 ライフデザイン 鈴木 輝隆  
 " 社会 ライフデザイン 斗鬼 正一  
 " 社会 ライフデザイン 土器屋 由紀子  
 " 社会 ライフデザイン 惠 小百合  
 " 社会 ライフデザイン 米村 恵子  
 " 社会 ライフデザイン 吉田 正人  
 " 社会 ライフデザイン 土屋 薫  
 " 社会 ライフデザイン 森島 濟  
 " 社会 経営社会 進藤 榮一  
 " 社会 経営社会 北原 憲彦  
 " 社会 経営社会 郡司 俊雄  
 " 社会 経営社会 広瀬 一郎  
 " 社会 経営社会 守屋 志保  
 " 社会 経営社会 金田 正明  
 " メディアコミュニケーション マス・コミュニケーション 青野 丕緒

配置換	メディアコミュニケーション	コミュニケーション	新井 正彦
"	メディアコミュニケーション	コミュニケーション	剣持 隆
"	メディアコミュニケーション	コミュニケーション	境 真理子
"	メディアコミュニケーション	コミュニケーション	佐々木 正實
"	メディアコミュニケーション	コミュニケーション	残間 義和
"	メディアコミュニケーション	コミュニケーション	篠田 豊
"	メディアコミュニケーション	コミュニケーション	多菊 和郎
"	メディアコミュニケーション	コミュニケーション	長谷川 公一
"	メディアコミュニケーション	コミュニケーション	宮坂 万喜弘
"	メディアコミュニケーション	コミュニケーション	濱田 逸郎
"	メディアコミュニケーション	コミュニケーション	大石 悠二
"	メディアコミュニケーション	コミュニケーション	西条 昇
"	メディアコミュニケーション	情報文化学科	秋葉 和子
"	メディアコミュニケーション	情報文化学科	加藤 忠明
"	メディアコミュニケーション	情報文化学科	高田 正之
"	メディアコミュニケーション	情報文化学科	村田 貞雄
"	メディアコミュニケーション	情報文化学科	松村 豊子
"	メディアコミュニケーション	情報文化学科	石田 義明
"	メディアコミュニケーション	情報文化学科	井上 雅子
"	メディアコミュニケーション	情報文化学科	小田 一郎
"	メディアコミュニケーション	情報文化学科	詹 萍
"	メディアコミュニケーション	情報文化学科	城一 道子
"	社会	人間心理	中塚 みゆき
"	社会	人間心理	T.M.Kelly
"	社会	ライフデザイン	宮崎 孝治
"	社会	ライフデザイン	高橋 克
"	メディアコミュニケーション	コミュニケーション	木内 英太
"	メディアコミュニケーション	コミュニケーション	R.R.Baer
"	スポーツ・レジャー	研究所講師	古城 庸夫
"	スポーツ・レジャー	研究所講師	鈴木 秀生
併任	語学教育研究所		長谷川 公一
"	語学教育研究所		秋葉 和子
"	語学教育研究所		加藤 忠明
"	語学教育研究所		松村 豊子
"	語学教育研究所		井上 雅子
"	語学教育研究所		城一 道子
"	語学教育研究所		T.M.Kelly
"	語学教育研究所		R.R.Baer
"	情報環境研究所		高田 正之
"	情報環境研究所		古里 靖彦
"	情報環境研究所		石田 義明
"	情報環境研究所		向仲 顯
"	情報環境研究所		小田 一郎
"	情報環境研究所		詹 萍
"	スポーツ・レジャー	研究所	北原 憲彦
"	スポーツ・レジャー	研究所	郡司 俊雄
"	スポーツ・レジャー	研究所	小林 至
"	スポーツ・レジャー	研究所	広瀬 一郎
"	スポーツ・レジャー	研究所	澤井 和彦
"	スポーツ・レジャー	研究所	守屋 志保
"	江戸川短期大学		宮崎 孝治
"	江戸川短期大学		高橋 克
"	江戸川短期大学		木内 英太
"	江戸川短期大学		中塚 みゆき
"	江戸川短期大学		T.M.Kelly

併任	江戸川短期大学	R.R.Baer
	短大教員(18.4.1付)	
委嘱	文化コミュニケーション学科長	下平 武治(任期1年)
"	図書館長	佐藤 毅( " )
"	学生部長	福井 嗣泰( " )
"	学生部次長	近藤 益世( " )
"	学生部次長	宮崎 孝治( " )
特任教授	任用更新	原田 昌明
併任	江戸川大学	福井 嗣泰
"	江戸川大学	下平 武治
"	江戸川大学	佐藤 毅
"	江戸川大学	遠藤 寛一
"	江戸川大学	近藤 益世
"	江戸川大学	海老澤 邦江
"	語学教育研究所	近藤 益世
"	語学教育研究所	海老澤 邦江
	事務職員(18.4.1付)	
昇任	就職課就職主任	千葉 保子
委嘱	入試広報課顧問	渡辺 千剛
"	入試広報課顧問	近藤 英昭

## 新任教職員紹介

平成18年4月、大学の教員が5名新たに就任しましたので、ご紹介します。

出身地	最終出身校	前職	担当科目	趣味
古里	靖彦	ふるさと やすひこ	情報文化学科教授	ひとつこと

古里 靖彦 ふるさと やすひこ

### 情報文化学科教授

長崎県 東京大学 エー・アンド・アイ システム(株)、社長室長 情報社会と経済、プレゼンテーション論 歌、映画、演劇、絵、読書 長い間、情報産業分野で仕事をしてきました。その経験を活かして皆さんと一緒に、eビジネスの世界を学んで行きたいと思います。

小田原 由佳 おだわら ゆか

### 経営社会学科助教授

千葉県 法政大学 中央青山監査法人 原価計算、財務会計 旅行・グルメ 昨年まで監査法人で大企業の監査の仕事をしてきました。ゼミや講義に公認会計士としての経験を活かしていきたいと思えます。

澤井 和彦 さわい かずひこ

### 経営社会学科助教授

静岡県 東京大学大学院 東京大学大学院教育学研究科身体教育学講座助手 スポーツ教育学、地域スポーツ論 読書(学術書、デジタルグッズの情報誌)、デジカメ、映画、音楽 親はなくとも子は育つ。

内藤 和明 ないとう かずあき

#### マス・コミュニケーション学科助教授

東京都 日本大学 日本テレビ放送網(株)、プロデューサー・演出 パラエティ、情報番組論、民放テレビの現状と展望 スキー・スキューバーダイビング・ボードセーリング・料理 マスコミを目指す者は旺盛な探究心と積極性を養うことが一番重要です。疑問には何でもお答えしますのでどんどん研究室に遊びに来てください。

木村 文香 きむら ふみか

#### 人間心理学科講師

東京都 お茶の水女子大学大学院 心理アセスメント、心理統計学、社会心理学調査演習 きれいなもの、かわいいもの、おもしろくて便利なもの、見たり、聴いたり、集めたりすること ほんの少しずつ、周りが見えるようになってきたのか、キャンパス内のきれいなお花が目にとまります。そしてそんなお花に日々、心いやされています。勉強することがたくさんの中、学生さんたちと一緒に、成長していければ・・・とっております。

## 江戸川大学役職者就任挨拶

### 社会学部長 帆足興次

「名」よりも「実力」：大学への進学率は45%を超え、ユニバーサル教育の時代に近づいている。ここ数年で退職する団塊の世代が進学した60年代初期では20%程度であり、大学卒はいわばエリートとして社会で待遇されたといっても過言ではなかろう。学歴が高いとか、名の知れた大学卒という社会的出生に基づく評価が、本人の自然的出生である能力以上に優先されてきたことは否めないと思う。いま、全国には720以上の大学があり、学科や学部でその特徴を打ち出しているのか、果たして学生の能力を伸ばしているのか。入学が安易となりつつある時代での若き江戸川大学では、名よりも実力を賦与する教育で歴史を刻むべきである。

### メディアコミュニケーション学部長 市村佑一

「情報技術」の革新により社会におけるコミュニケーション活動はますます大きく変化しています。こうした時代の流れに沿って、この4月、新しい学部として出発した「メディアコミュニケーション学部」には、従来の新聞・出版・放送・広告といったマスコミを中心に学習する学科のほかにインターネット時代を意識した学科を新設しています。「情報化」「国際化」を標榜

してきた本学としては、不特定多数を対象とするマスコミだけでなく、特定多数との双方向コミュニケーションを担う人材も育成したいと考えているからです。若い諸君の夢を育むためにもできるだけ多くの方々の知恵とご協力をお願いしたいと思っています。

### 図書館長・情報文化学科長 村田 貞雄

4月から1年の任期で2つの役職をかねることになった。図書館は業務委託が3年目に入り日常業務はほぼ安定しており、ガイダンスの徹底や学生向け図書・雑誌の充実もあって入館者数、貸し出し数ともやや増えている。業務処理の細部についても定例会での報告、文書化による透明化が進んでいる。

新学科準備は昨年2月に急遽指示されたもので調整にはかなりの手間を取られた。引き続き今年度いっぱい兼務することとなったが、考えてみると残された時間は数ヶ月に過ぎない。当面、学科としての初期設定に注力するが、早めに良き後任を得てバトンタッチしたいものである。

### 人間心理学科長 柴田 良一

今年度より人間社会学科を発展させ、心理学・カウンセリング・身体論という3本柱をもとに人間心理学科がスタートいたしました。

心身一元という東洋のコンセプトを以て、新たな分野を切り開く努力をしていきたいと考えています。現下の大学を巡る状況の中では、なかなか困難なことが多々横たわっているかと思いますが、学生が卒業するときは、学生・教職員ともども、江戸川大学で4年間過ごすことが出来て良かったと思えるよう、微力ではありますが力を傾けていきたいと思っています。そのためにも是非皆様方のお力添えを頂ければと思っています。

### ライフデザイン学科長 斗鬼 正一

世の中に、環境保全に人生をささげるのだ、といった確信犯型高校生は多い。だから社会の生き方デザイナーを目指した、しっかりとした専門教育を進める。

でも世の中には、自分の生き方、大学での生き方にも迷う子羊型学生はもっと多い。だから「生き方の人類学」といった「生き方科目」を用意し、文系から理系まで幅広いコースを提供して、自分の生き方をデザインできる教育を進める。

世の中にもっと多いのは、勉強＝暗記＝嫌いというもう沢山型高校生。だから本物の学問＝「楽問」の楽しさと有効性を、机上を離れた現場の学問＝フィールドワーク重視の教育を進める。

そんな学科に、私はしたい。

経営社会学科長 榎本 勉

新社会学部長の、いわば、経営社会学科創業者・帆足先生を引き継いで、二人目の学科長となりました。当学科も今春、三回目の卒業生を送り出し、七年目に入りました。昨年の改組もあり、更なる飛躍のための足場固めが必要とされている時期でしょう。とりあえず、今年は「面倒見のよい大学」すなわち、学生を「就職できるように育てる」というモットーの強化のために、ゼミ授業の充実を考えた試行錯誤を行っているところです。

Googleで経営社会学科を検索すると当学科がトップに出ます。つまり、日本で唯一の存在です。このユニークな名称にふさわしい学科の理念を明確に、教育内容の充実を計り、地域社会から見て魅力のある学科とするために、さらに何が必要か、模索を続けて行きます。

双・コミュニケーション学科長 篠田 豊

5月の学科会で、「学生を育てる」ことを重視し、「面倒見の良い学科」にしたい、と先生方に協力をお願いした。緊縮財政の下、設備や組織の拡大といったカネのかかることはもはや出来ない。頭と身体を使って工夫する以外、目標は達成できない(もっともハコ物はカネさえあれば出来るが、「人間(学生)を育てる」ことは育てる側に愛情と情熱がないと不可能だ)。自戒を込めて考える。私たち教員が学生をきちんと育ててきただろうか、何らかの付加価値を与えて社会に出してきただろうか。難関のマスコミ受験に挫折する学生たちを「彼らは"夢追い人"だから」と冷笑するだけで、腕をこまねいてはこななかっただろうか。

答えは、これまでの就職実績が冷静に示している。

教務部長 茅野 廣行

今年度から2学部、5学科体制がスタートしました。新体制下では付加価値の高い教育、研究、課外活動が、教員、職員、学生が主体で実施されます。その結果が優れた学生の育成、卒業、社会での活躍とつながります。教育には長期的視点が必要ですが、活動の成果や他大学との差別化が短期的にも求められています。

改革1年目の今年度は、新体制が根付くかどうかの重要な時期です。学科会議や学科長連絡会をふまえた教務委員会で、新カリキュラムなど新体制の実施状況を注意深く検証し、意見を交わし、問題点があれば摘出します。情報収集、企画提言能力を高め、修正が必要な部分があれば、適切に提言していきます。

学生部長 新井 正彦

創立17年目を迎えた本学が、2学部5学科として新しいスタートを切った本年度4月より、学生部長を

拝命することとなった。

創立以来、教務・入試関係ばかり歩んできたため、17年目にして全くの新人・学生部長が本学に誕生。入学式後、新入生とそのご両親への学生生活心得を踏まえての挨拶が新学生部長としての初仕事(入学式後にこのような行事が行われていたことを今まで知らなかったことが情けない)。新入生諸君諸姉に挨拶をしながら、「お互い新人ですからいっしょに頑張りましょう」と、心の中でつぶやいた。

教職員の皆様、新人・学生部長に是非ともご支援を。

入試・広報センター長 青野 丕緒

昨年夏、東北から来て本学のオープンキャンパスに参加した高校生がいました。日焼けした顔に白い歯が印象的な少年。会場に来ると、教授が次々に話しかけ、在校生が彼の質問に答える。話は弾んで行きました。やがて彼はその場で母親に電話しました。

「お母さん、僕この大学に入りたいな。」

他の大学もいくつか回ってみた。でもこんなに熱い空気はなかった。こんなに情熱的に母校のことを語る大学生には出会わなかった。誰も話しかけてこない大学もあった。そして、江戸大には何かある、と思ったのだそうです。

現在マスコミ学科1年、春の「センバツ」に聖光学院高校(福島)の外野手として出場した元甲子園球児、齋藤崇寛君です。最大の広報材料は、齋藤君が感じた「ひとの熱さ」ではないでしょうか。核心に「熱さ」のある広報を心がけ、全力を尽くします。

語学教育研究所長 加藤 忠明

この大学の開学以来の教育の二本柱は、国際化と情報化です。日本人として、国際社会に、また、情報社会に活躍できる人材を世に送り出そうという趣旨です。ニュージーランド研修などで、英語の学習に目覚め、英語をコミュニケーションのツールとして活躍しているかなりの卒業生がいます。

情報文化学科が生まれ、こういった目標に向かう環境が整ってきたと感じております。4年一つのことに傾注することは、大きな成果を挙げることに間違いありません。他学科の学生にも、英語科目の増大で、学習環境が整いました。就職試験では、英語力が試されます。

この意味で、A棟の一階ラウンジでの英会話サロン、チュートリアル(個人指導)が、英語学習に関心を寄せる皆さんに大きな助けとなります。

情報環境研究所長 向仲 顕

江戸川大学には、コンピュータに強い大学、少人数教育で面倒見のよい大学、というイメージがあります

が、これを一つの大きな柱として、強化していくのが情報環境研究所の使命です。従来の学習管理システムにより学生を管理するという視点だけでなく、コンピュータとネットワークを活用することにより、学生のやる気を引き出す、創造性を育成するという視点からのシステムを研究していきたいと考えています。また、教育情報化に関する研究だけでなく、学術情報部と協力してより具体的に、オンデマンド授業の推進、学生ポータルを中心とした学生の情報環境の充実を推進していきます。

#### スポーツビジネス研究所長 広瀬 一郎

「スポーツ」を看板にしたコースや学科を設ける大学が増えている。スポーツビジネスに身を投じようという若者の数は、相当増えているようだ。だが、そもそもスポーツ産業の定義もされていないまま、なんとなくスポーツの仕事につけるような錯覚を大学が与えているとしたら、これは由々しいことである。安易な対応は後に禍根を残す。

「スポーツに関わりたい」という若者と「スポーツに関われるように導く」大学との間で、「スポーツに関わる」とはどういうことか、「スポーツビジネス」とは何か、について共通の理解はできているのか。そこを整理することが本研究所の当面の責務だと考えている。

#### 教務部次長 阿南 透

教務部次長に就任いたしました、ライフデザイン学科の阿南透です。昨年度から引き続き2度目の就任ではございますが、不慣れなことゆえ、ご迷惑をお掛けすることも多々あるかと思えます。

教務部は、時間割、カリキュラム、学年暦、試験、履修登録、それに資格など、授業に関することなら何でも扱う部署です。その次長という役職は、部長を補佐するとともに、先生方と事務方との橋渡し役でもあるかと思えます。快適な学習環境を作り上げていくため、精一杯勤めさせていただきますので、何かございましたら、お気軽にお声をおかけください。

#### 学生部次長 吉田 正人

江戸川大学は、大きな大学とは違って、学生と教員が互いに顔と名前が一致する環境で、きめ細かな指導ができることが特色です。また部活動に打ち込む学生や同好会・愛好会で友人関係を築く学生も多いと思います。

しかし最近の世相を反映して、大学よりもアルバイト優先となってしまう学生や、自宅に引きこもったまま大学に顔を見せなくなってしまう学生も増えてい

ます。学生の学業面での指導以外に、生活面での指導や精神面での相談が重要になっていることから、学生部、学生指導委員会としても、ゼミ担当教員との連携を緊密にとりながら、学生を支援して行きたいと思えます。よろしくご指導のほどお願い申し上げます。

#### 入試・広報センター次長 残間 義和

2年目の私がこのような重責を賜り、緊張しています。前職の広告会社「博報堂」にも毎年、様々な新人が入ってきました。初めはそろってしどろもどろだったのが、先輩たちの指導でみるみる成長していきま

す。成長の基本は「常識」を身につけさせる事と「らしさ」を伸ばしていくことでした。江戸川大学においても、妙に完成した若者より「成長力」の見込まれる人材を獲得し、育てていくことに全力を尽くしたいと思っております。江戸川大学の血の通った少人数教育と、教員の特色ある陣容を見るにつけ、発展を確信いたします。教職員の皆様方との連携を深め、青野センター長を補佐して懸命に務めるつもりです。

## 江戸川短期大学役職者就任挨拶

#### 文化コミュニケーション学科長 下平 武治

短期大学は今年度末を持って、創立以来22年の歴史にピリオドを打つことになりました。この閉学の年にあたって今まで江戸川短期大学が培ってきた教育の総決算として、過去の21年間に恥ずかしくないよう、先生方のご協力をいただいて全力を尽くすつもりであります。

そのためにはまず在学している学生一人一人をより大切にし、きめ細かな教育を行い、3月には全員卒業させる、ということを第一の目標にしたいと思っております。また閉学しても、卒業後学生が母校としてこの駒木のキャンパスにいつでも帰って来られる環境も整えておきたいと思っております。

#### 学生部長 福井 嗣泰

江戸川短期大学閉学の年を迎え全員の学生の無事な卒業を目指して、きめ細かな学生指導の徹底を進めていきたいと考えています。健康、安全、卒業単位の取得、進路指導、記念事業等、誇りと充実した大学生活を体験させ、最後に相応しい学生を育てたい。また、全ての短大卒業生に対して、今後のサービスが継続されるよう配慮していきたい。短大全ての教員は江戸川大学に移行しており、以後の連絡も可能である。キャンパス内には短大記念施設設置の予定があり、卒業生が訪れても在学当時を懐かしむこともできるであろう。

**図書館長 佐藤 毅**

大学は、知的研鑽を目的とする場である。その意味で講義と同様に図書館は重要な位置を占める。図書館利用者の減少傾向に歯止めをかけるべく、多くの対策を練ってきた。原書(テキスト)への導入を促すためにコミック及びビデオ・DVDコーナーの設置も軌道に乗ってきた。その機能性を発揮するため2階にそれらのコーナーを移動した。ただ、入館者数増に比して書籍貸出数が伸びないのは、残念ながら導入部分に止まったまま3階4階に発展して行かない現状を示している。講義との有機的な連関が今後さらに望まれる。また、市民の利用者も徐々に増え、その熱心さが、学生の一層の勉学意欲につながれば良いと考えている。

**学生部次長 近藤 益世**

今年は、短大生を社会に或はより高い教育機関に送り出す最後の年 - 1年生のいないキャンパスは寂しさを拭いきれない感がありますが、一方、終幕を飾るに相応しい学生生活をすべての学生が享受できるように

誠心誠意努めていきたいと思っています。

現在、短大生の最大の関心事は進路形成ですが、卒業ゼミを核として、学生一人一人の資質を見極め、個性を尊重し、それぞれに最も相応しい未来を提供できるよう取り組んでいきたいと思ひます。

また、後期最大の行事「学園祭」は、三校が自然な形で「和」を生み出せるような、形式・内容ともに充実したものになるよう支援したいと考えております。皆様方のご協力ご支援を心よりお願い申し上げます。

**学生部次長 宮崎 孝治**

前任期から引き続きまして学生部教務担当次長を拝命いたしました。短期大学は今年度2年次生だけの在籍となります。よって、その有終の美を飾るべく全学生の滞りのない卒業を目指し、きめ細かな学生対応を心がけ教務運営に当たりたいと思っております。様々な事柄が派生することも予期されますが、皆様方のご支援、ご協力を得て、職務を全うしてまいりたいと思っております。

**主要日程****【大学】**

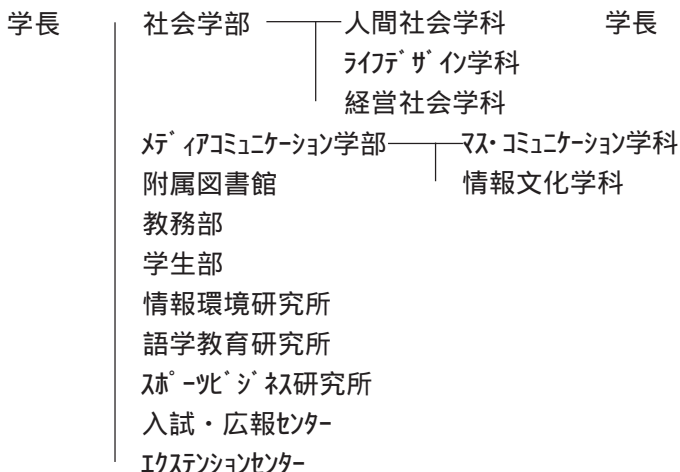
4月 3日(月)	入学式
4月 4日(火)	ガイダンス(～7)
4月 8日(土)	前期授業開始
4月14日(金)	履修登録(～20)
4月24日(月)	履修確認(～26)
4月29日(土)	江戸川ウォーク
5月 1日(月)	4/29の振替休日
5月 2日(火)	11/3の振替休日
5月 3日(水)	憲法記念日
5月 4日(木)	国民の休日
5月 5日(金)	こどもの日
6月24日(土)	オープンキャンパス
7月14日(金)	前期授業終了, 定期試験時間割発表
7月15日(土)	前期補講(～21)
7月17日(月)	海の日
7月22日(土)	前期定期試験(～28)
7月29日(土)	前期特別講義(～31)オープンキャンパス
8月 1日(火)	前期集中講義(～5)
8月 6日(日)	オープンキャンパス
8月14日(月)	学校完全閉鎖(～16)
8月21日(月)	前期追試許可者発表
8月22日(火)	前期追試(～23)
8月23日(水)	オープンキャンパス
9月 9日(土)	オープンキャンパス
9月15日(金)	後期集中講義(～22)
9月18日(月)	敬老の日
9月23日(土)	秋分の日
9月25日(月)	後期授業開始, 履修変更(～30)

**【短大】**

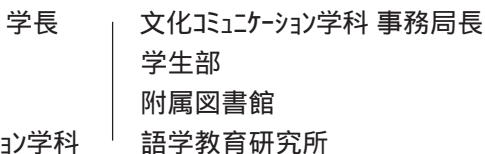
4月 5日(水)	ガイダンス
4月 6日(木)	前期授業開始
4月14日(金)	履修登録(～20)
4月24日(月)	履修確認(～26)
4月29日(土)	みどりの日
5月 1日(月)	休校
5月 2日(火)	11/3の振替休日
5月 3日(水)	憲法記念日
5月 4日(木)	国民の休日
5月 5日(金)	こどもの日
7月 4日(火)	定期試験時間割発表
7月15日(土)	前期授業終了
7月17日(月)	海の日
7月18日(火)	前期定期試験(～24)
7月25日(火)	夏期休業開始
8月11日(金)	前期追・再試験許可者発表
8月14日(月)	学校完全閉鎖(～16)
8月17日(木)	前期追・再試験(～19)
9月18日(月)	敬老の日
9月23日(土)	秋分の日
9月25日(月)	後期授業開始, 履修変更(～30)

## 江戸川大学・江戸川短期大学機構図

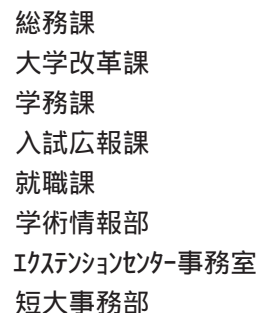
○江戸川大学教育組織



○江戸川短期大学教育組織



○大学・短大事務組織



## 主要行事

### 【第20回卒業式(短大)】

平成18年3月19日(日) 素晴らしい天気恵まれ、本学映像ホールにて第20回江戸川短期大学卒業式が挙行されました。



柿島仁美さん

学位記が文化コミュニケーション学科139名に授与され、柿島仁美さんが卒業生を代表して答辞を読み上げると、ほかの卒業生や先生方の涙も誘い、会場からはすすり泣きが聞こえてきました。式後、屋外にて記念撮影、卒業研究別に昼食会となり、卒業生は最後の時間を惜しんでいました。

翌日行われた卒業記念パーティでは、卒業生の在学時の学生生活のスライドが上映され、最後は壇上へ上がっての校歌斉唱となりました。(会場：東京 Marriott ホテル錦糸町東武)

### 【第13回卒業式(大学)】

平成18年3月15日(水) 風が冷たくも晴れわたるなか、流山市文化会館にて第13回江戸川大学卒業式が挙行されました。

国歌斉唱の後、人間社会学科106名、マスコミュニケーション学科133名、環境デザイン学科66名、経営社会学科85名の計390名に学位記が授与されました。



大塚琴美さん

卒業生答辞では、マスコミュニケーション学科の大塚琴美さんは「この大学に帰ってくる時は後輩に力強い社会の歩き方というお土産を持ってきたい」

と、旅立ちの心情を清々しい表情で語りました。式後、卒業生は大学に戻り、大勢の在學生に拍手や花束で迎えられました。メモリアルホールにて記念撮影の後、ゼミ別に昼食会となりました。

翌日、卒業記念委員会が主催した卒業記念パーティは、バルーンアートで飾られた場内の中央にステージが設けられ、スクリーンに先生方の学生時代の写真やひかるちゃんの映像が流れて、大いに盛り上がりました。(会場：ヒルトン東京ベイ)

### 【第17回入学式(大学)】

平成18年4月3日(月) 暖かい陽気のなか、流山市文化会館にて第17回江戸川大学入学式が挙行されました。

式は、13時30分から始まり、社会学部人間心理学科、ライフデザイン学科、経営社会学科、メディアコミュニケーション学部マスコミュニケーション学科、情報文化学科の計516名の



課外活動団体の新入生勧誘

入学が許可されました。

式終了後、14時からには学生や父母に学生生活について説明があり、新入生がバスで大学へ移動した後は、父母に後援会について説明がなされました。

大学では、新入生を課外活動団体の在學生たちが迎え、積極的に勧誘する姿が見られました。



## 諸 報

### 【木内英仁副理事長の理事長就任】

平成17年度第6回理事会(平成18年3月28日開催)において、太田前理事長より平成18年3月末での辞任表明があり、これを受けて後任の理事長として副理事長の木内英仁江戸川女子中学校・高等学校長が選任され、平成18年4月1日付けにて理事長に就任されました。

理事長の任期は4年ですが、前太田理事長の残任期間が平成18年6月8日だったことから、一旦6月8日に任期到来となり、平成18年度第1回理事会(平成18年5月23日開催)において、平成22年6月8日までの期日で再選されました。

なお、木内英仁理事長は、江戸川女子中学校・高等学校長兼務となります。

### 【入試広報センター棟の竣工】

7ヶ月に及ぶ工事が終わり、入試広報センター棟が完成しました。今年3月24日に完了検査を終え、同月28日に引渡しとなりました。



入試広報センター棟外観

同月31日(金)春の爽やかな陽気のなか「入試広報センター棟(N棟)」の竣工式が行われました。太田大学長、木内副理事長(現理事長)、北原短大学長をはじめ、



竣工式 - 中央は太田学長 -

学内の関係者及び工事関係者約20名が参列し、工事が無事に終わったことを感謝するとともに、入試広報センター棟の今後の安全を祈願しました。

A棟から入試広報課がN棟1階に、理事長室・学長室、法人事務局、総務課・大学改革課がN棟2階に移転しました。なお、A棟1階、学務課、就職課、短大事務部は今までどおりです。

### 【A棟(教育研究棟)内の改装】

N棟への各部署の移転に伴い、A棟は教育研究棟として機能を充実させることになりました。1階AOLルームは、学生の英語運用力向上を目的とした「英会話サロン」として利用され、後期からはE棟1階スタジオの「サテライトスタジオ」としても利用できる予定です。

また、後期授業開始までに、1階事務局の一部に接室と小研修室、7階に個人研究室16室、8階に大会議室(108人定員)1室、中会議室2室(各20、30人定員)が設置されます。

工事は7月から始め夏期休業期間中を予定しております。工事のため現在の7階会議室が使用できなくなり、騒音等ご迷惑をおかけしますが、何卒ご了承下さい。工事の詳細は追ってご連絡いたします。

### 【収容定員の変更(大学)】

江戸川大学は、昨年7月29日付けで収容定員の増加に係る学則変更の認可申請を行い、同年9月30日に認可されました。

内容は、既設の社会学部人間社会学科(入学定員120人)、マス・コミュニケーション学科(同145人)、環境デザイン学科(同90人、3年次編入学定員10人)を廃止し、新たに、社会学部人間心理学科(入学定員100人)、ライフデザイン学科(同100人)、メディアコミュニケーション学部マス・コミュニケーション学科(同130人)、情報文化学科(同100人)を設置。なお、既設の社会学部経営社会学科(入学定員100人)の定員を120人に増加し、収容定員を480人となりました。

平成18年4月から、大学全体として、入学定員合計550人、収容定員合計2200人となり、変更前と比較して、入学定員95人、収容定員360人の増加の新体制となりました。

### 【学生募集の停止(短大)】

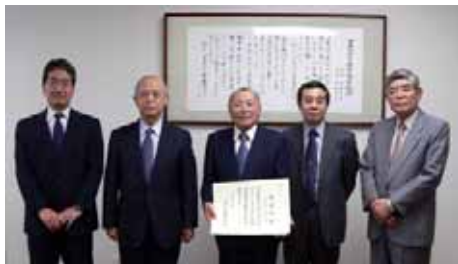
江戸川短期大学は、平成18年度から学生の募集を停止することとなりました(文化コミュニケーション学科、入学定員150人、収容定員300人)。

これは、18歳人口の減少などによる社会経済情勢の変化及び学習対象となる社会事象の多様化・流動化の実情を鑑み、より社会のニーズを満たすことができる教育体制を構築するため、江戸川大学へ発展・統合するものです。

本学の教育内容は、江戸川大学の新設学科に取り込まれ、新たな展開を迎えることとなりました。

## 【名誉教授称号授与式(短大)】

平成18年5月18日、鈴木仲秋元教授に対する名誉教授称号授与式が、短大学長室にて行われました。



5月18日名誉教授称号授与式



### 鈴木仲秋先生略歴

昭和33年3月國學院大学文学部卒業後、千葉県下の中学校・高等学校で教諭として勤める。昭和44年10月千葉県教育庁文化課に着任、千葉県立総南博物館長、千葉県立上総博物館長を歴任。平成8年4月江戸川女子短期大学教授に着任、「博物館概論」「考古学」等の科目を担当。著書に、『東国地域文化史序説』(暁印書館)等。

## 【平成16年度自己点検評価報告書(大学)】

本学では自己点検・評価委員会が中心となり、毎年いろいろな角度から自己点検を行ってきましたが、本学の教育活動全般に関する点検の結果を「平成16年度自己点検評価報告書」としてまとめました。

本報告書の項目は、本学の建学の精神や基本理念を初め、教育研究組織、教育課程、学生、教員、職員、管理運営、財務、教育研究環境、社会連携、社会的責務等です。また、平成16年度の後期に行った「学生による授業評価アンケート」の結果についても掲載されています。

自己点検評価は、平成16年度から義務化され、外部機関による「第三者評価」も7年ごとに受けることが義務付けられています。今後さらに本報告書を充実させていきたいと考えておりますのでご一読いただき、ご意見・ご要望等を自己点検・評価委員会までお寄せ下さい。

本報告書は総合情報図書館で閲覧できます。

## 【江戸川ウォーク(大学)】

毎年恒例の江戸川ウォーク(第7回)が、今年4月29日(土)に行われました。曇り空で少し強い風が吹くなか、新入生と教職員が江戸川ウォークの黄色いパンフレットを片手に三郷市江戸川河川敷に集合。このパンフレットは、江戸川とその流域の文化や自然に関するトリビアが載っていて、学生はウォーキングしながら、本学周辺の地域に親しむことができます。全員

で準備運動をした後、三郷市江戸川河川敷を11時10分にゼミごとに出発。学生はゴミ袋を持ち、ゴミを拾いながら歩き、第1チェックポイントの三郷排水機



パンフを片手に歩く学生たち

場で昼食をとりました。

昼食後出発し、第2チェックポイントを通過するあたりで雨が降ってきて風も強くなりましたが、学生たちは14時頃柴又公園にゴールイン。全長約12キロの道のりを歩ききりました。雨に降られましたが、終始学生たちの楽しげな笑顔が印象に残った江戸川ウォークとなりました。

## 【インターネット放送局「EDO-TV」開局(大学)】

今年4月にインターネット放送局「EDO-TV」が開局しました。これまで学内だけでオンエアしてきた水曜日正午の生放送番組「さんQ」をインターネットで放送することで、多くの人に見ていただけるようになりました。

この生放送番組は、マス・コミュニケーション学科の特別ゼミの学生が制作のすべてを行い、デジタル化してインターネットにアップしています。



EDO-TV トップ画面

現在、参加している学生は1年生から4年生まで約80名。佐々木正實教授や境真理子教授の指導の下、ゼミ長、制作部、スペシャル番組部、アナウンス部、技術部、総務部といった放送局あるいは制作プロダクションに準じた組織となっています。定期的な生放送をインターネットで公開することで、学生に緊張感が生まれ、番組の質も高まってきました。著作権処理やマスコミ倫理といった講義での授業も実践に役立ち、高い教育効果が期待できます。

生放送の他には、本学の教員の研究室を訪ねる「研究室探訪チャンネル」や「授業&講演公開チャンネル」等があります。本学の映像版ホームページとしての顔も担いつつ、今後さらに番組を充実させていく計画です。ご期待下さい。

## 【セキュリティ対策としてのVLAN設定変更】

学術情報部では、平成17年度末のネットワーク関連作業として、学内LANにおけるVLAN設定の変更を実施いたしました。

具体的には、これまでとは異なり学生用LAN、教員用LAN、職員用LANという3種類の仮想的なLANを設定し、それぞれにおいて利用できるサービスやデータの相互共有の禁止などを実施しております。簡単な概要としては次のとおりです。

・学生VLAN 職員VLANとデータ共有を禁止。インターネットに対して実施できるサービスを制限。(具体的にはWinnyの利用などができない設定になっています。)

・教員VLAN これまでと変更なし。ただしC棟研究室に関してのみ、暫定的な措置をとっています。これは研究室移動を踏まえた措置です。

・職員VLAN 外からのアクセスを禁止。教員VLAN、学生VLANからのデータ共有を禁止。

## 【総合情報図書館】

### 1. ILL文献複写等料金相殺サービスへの参加

総合情報図書館では、この4月より国立情報学研究所が提供する「ILL文献複写等料金相殺サービス」へ参加しました。このサービスは全国の国公立大学など約600あまりの機関が参加しており、これに参加することで、依頼可能な資料の種類も増えることになります。

この参加により、これまで基本的に利用者側で実施していた、料金の銀行等への振込みや、切手による支払いが変わり、図書館カウンターでの現金支払いとなりました。

### 2. 日経BP記事検索サービスの利用

図書館では本年度より、「日経BP記事検索サービス」を契約し、このほど提供体制が整いました。

これは、日経BP社が発行している40タイトルあまりの雑誌について、バックナンバーの閲覧、記事の検索ができるものです。ビジネスやコンピュータ関連から、サービス関連雑誌など、様々な雑誌を通読することができます。

なお、これは学内からのアクセスのみ可能なサービスです。ご自宅等からはVPN接続を利用しても使えませんのでご注意ください。

### 3. 論文作成ガイダンスの実施

基本的なデータベースの操作方法を学生に修得させることで、図書館としても学習活動を支援することを

目的として、後期に向けてゼミ対象の論文作成ガイダンスを実施する予定です。

図書館で契約し、学内で使うことを想定される様々なオンラインデータベースの使い方を3つのコースで説明します。

1. 図書検索コース...図書館内の資料や、他大学図書館の資料などを効率的に探すため、「ELIS」と「ネットで百科 for Library」を習得します。
2. 新聞記事検索コース...各種新聞記事データベースの使い方を説明します。「日経テレコン21」など、就職活動での企業検索に役立つものもあります。
3. 雑誌記事検索コース...国内最大級の雑誌記事データベースである「MAGAZINE PLUS」について、外部講師を招いてその利用方法を説明します。

## 【エクステンションセンター】

江戸川大学「柏教室」では、現在「2006春季公開講座」を開催中です。募集の都度好評の語学講座のほか、大石悠二教授の「インド」や濱田逸郎教授の「失敗学講座」、高橋克助教授の「万葉集講座」等が人気です。

5月末から募集開始の「2006夏季公開講座」は語学講座の他、日本野鳥の会による「野鳥観察入門」、吉田正人教授の2005冬季講座に続いての「日本の世界文化遺産」、佐藤毅教授の「江戸なるほど事典」など、お待たせ講座がびっしりです。保科悦久・小田原由佳助教授の「日商簿記検定3級、2級レベル」対策講座、鈴木仲秋名誉教授・高橋克助教授の「篆刻入門講座」、石田義明教授の「エクセル講座」など、それぞれのご専門を活かしての新しい趣の講座もあり、全部で24講座を用意しました。



夏季講座募集中



甲野善紀氏

また、7月30日(日)開催の特別講座、古武術研究者甲野善紀氏による「身体(からだ)の知性」は、ココロとカラダの「知」の可能性について、実技を交えながらじっくり「人間心理の身体論」に迫っていただきます。

これからも1年4期にわたって、知性を刺激する楽しく、身につく講座を開催していきます。学内の学生・教職員は、受講料無料という特典があります。「柏教室」を大いにお役にください。

パンフレットは、駒木キャンパスA棟、N棟の両受付にあります。どうぞご覧ください。

平成17年度進路状況(大学)

H18.3.31現在

項目		計		人間社会		マス・コミュニケーション		環境デザイン		経営社会	
進路区分	在籍者数	443	男 330 女 113	125	男 82 女 43	151	男 97 女 54	76	男 63 女 13	91	男 88 女 3
	就職決定者	279	男 206 女 73	70	男 43 女 27	103	男 66 女 37	40	男 33 女 7	66	男 64 女 2
	進学	9	男 8 女 1	6	男 5 女 1	2	男 2 女 0	0	男 0 女 0	1	男 1 女 0
	自営 家事手伝い	10	男 8 女 2	4	男 3 女 1	1	男 0 女 1	2	男 2 女 0	3	男 3 女 0
	アルバイト	28	男 20 女 8	7	男 6 女 1	10	男 5 女 5	6	男 4 女 2	5	男 5 女 0
	公務員志望	7	男 6 女 1	3	男 3 女 0	1	男 0 女 1	1	男 1 女 0	2	男 2 女 0
	その他 ※	41	男 23 女 18	11	男 2 女 9	12	男 7 女 5	11	男 7 女 4	7	男 7 女 0
就職未定者	16	男 11 女 5	5	男 3 女 2	4	男 1 女 3	6	男 6 女 0	1	男 1 女 0	
休学者	3	男 3 女 0	1	男 1 女 0	1	男 1 女 0	1	男 1 女 0	0	男 0 女 0	
留年者	50	男 45 女 5	18	男 16 女 2	16	男 14 女 2	10	男 10 女 0	6	男 5 女 1	
進路決定率	96%	男 97% 女 96%	96%	男 96% 女 95%	97%	男 99% 女 94%	92%	男 90% 女 100%	99%	男 99% 女 100%	

平成17年度進路状況(短大)

H18.3.31現在

項目		計	内 訳		
在籍		139	男 11 女 128		
就職	就職希望	110	男 5 女 105		
	決定	会社内定	78	男 4 女 74	
		自営	6	男 0 女 6	
		派遣社員・アルバイト 家事手伝い	22	男 0 女 22	
		公務員	0	男 0 女 0	
	計	106	男 4 女 102		
就職未決定		4	男 1 女 3		
就職せず		9	男 2 女 7		
進学	進学希望	20	男 4 女 16		
	決定	16	男 4 女 12		
	未決定	4	男 0 女 4		
休学		0	男 0 女 0		

平成18年度入試状況(大学)

社会学部(人間心理学科・ライフデザイン学科・経営社会学科)

入試区分	募集人員	志願者数	合格者数
A0	105	170	127
推薦	110	108	108
一般	65	118	89
センター利用	40	126	106
留学生	0	51	25
合計	320	573	455

メディアコミュニケーション学部(マス・コミュニケーション学科・情報文化学科)

入試区分	募集人員	志願者数	合格者数
A0	75	99	86
推薦	80	63	63
一般	40	42	36
センター利用	35	63	62
留学生	0	40	18
合計	230	307	265

社会学部(人間社会学科・マス・コミュニケーション学科・環境デザイン学科・経営社会学科)

入試区分	募集人員	志願者数	合格者数
3年次編入学	10	33	21

- 学報第4巻3号(通巻20号)の訂正 -

P8 2.2 施設等への満足度

(誤) 3c 図書館 37.4 36.6 -0.8 42.6

(正) 3c 図書館 37.4 36.6 0.8 42.6

## 学校法人江戸川学園・江戸川大学・江戸川短期大学

# 平成17年度決算報告

## 1 平成17年度決算の概要

平成18年5月23日に開催された、学校法人江戸川学園評議員会ならびに理事会において、学校法人江戸川学園の平成17年度決算(案)が承認されました。つきましては当学園の貸借対照表、消費収支計算書、資金収支計算書を掲示いたします。

平成17年度を振り返りますと、江戸川学園の大きな動きとして、まず、江戸川短期大学では、平成19年3月廃止に向けて募集を停止いたしました。これに伴い、江戸川大学では江戸川短期大学を統合し、平成18年4月、1学部4学科から2学部5学科に改編いたしました。施設・設備面では、大学機能の強化・拡充の為、入試広報センター棟の新築、マルチメディア教室・無線LAN設備の増設を行いました。また、つくばエクスプレスの開通に伴い、最寄り駅「流山おおたかの森」と駒木キャンパスとの間に無料スクールバスを運行させています。

一方、江戸川大学総合福祉専門学校では、平成19年4月に社会福祉士一般養成施設として「通信課程」「通学課程」を新設するとともに、児童福祉科の定員を倍増する計画で、その為の校舎・施設の新築に着手しております。

この様な活動の中で、平成17年度決算の概要につきまして、消費収支計算書に基づき説明いたします。

まず、収入面ですが、収入の大半を占める学生生徒納付金収入につきましては、江戸川女子中学校のみが増加し、他の6校で減少したことから、江戸川学園全体では5,461百万円を計上、前年度比239百万円の減少となりました。また補助金収入につきましては、江戸川大学で32百万円、江戸川女子中学・高等学校で58百万円増加し、江戸川学園全体では1,252百万円を計上、前年度比75百万円の増加となりました。その他の収入については、寄付金収入が前年度比56百

万円減少したこと、雑収入の中の退職金社団等交付金収入が前年度比41百万円減少したこと等により、江戸川学園全体で前年度比105百万円減少の354百万円を計上しました。その結果、帰属収入全体としては、7,066百万円を計上、前年度比269百万円の減少となっております。

一方、支出面につきましては、人件費が江戸川学園全体で3,584百万円を計上しました。前年度比19百万円の減少ですが、退職給与引当金・退職金を除いた、教員・職員人件費だけみると、江戸川大学で前年度比22百万円、江戸川女子中学・高等学校で前年度比24百万円増加しました。また、教育研究経費は1,939百万円を計上、前年度比49百万円の増加となりました。増加が顕著な項目は報酬委託手数料であり、前年度比22百万円の増加となりましたが、この原因は江戸川大学がスポーツビジネス研究所を作り、バスケットボール、サッカーに力を入れている為諸経費が膨らんだこと、マルチメディア教室拡充に伴い機器・ソフトの保守契約が新たに発生したこと等が挙げられます。

また、減価償却費は江戸川学園全体で802百万円を計上、前年度比32百万円の増加となりました。その理由は、江戸川大学において第二体育館の減価償却が始まったこと及びマルチメディア教室の機器備品の償却があったこと等が挙げられます。次に、管理経費は571百万円を計上、前年度比47百万円の減少となりました。以上、人件費、教育研究経費、管理経費、その他の経費を合わせた消費支出合計額は6,195百万円を計上しました。

この結果、消費収入合計額から消費支出合計額を差し引いた平成17年度の消費収支差額は504百万円の収入超過となりました。

以上が平成17年度決算の概要です。

## 2 貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書(平成18年3月31日)

### 2.1 貸借対照表(江戸川学園全体)

(単位:百万円)

〔資産の部〕		〔負債の部〕	
固定資産	(27,607)	固定負債	(704)
有形固定資産	〔21,690〕	長期借入金	0
土地	3,741	退職給与引当金	704
建物	15,150	流動負債	(1,573)
構築物	663	未払金	91
教育研究用機器備品	1,124	前受金	1,069
その他の機器備品	75	預り金	34
図書	932	修学旅行費等預り金	380
車両	5	負債の部 合計	2,277
その他の固定資産	〔5,916〕	基本金の部	
借地権	1,011	第1号基本金	30,872
施設利用権	1	第2号基本金	675
電話加入権	6	第3号基本金	0
退職給与引当特定預金	615	第4号基本金	389
減価償却引当特定預金	3,550	基本金の部 合計	31,936
第2号基本金引当特定資産	675		
第3号基本金引当特定資産	0		
差入保証金	58		
流動資産	(9,887)	消費収支差額の部	
現金預金	9,322	翌年度繰越消費収入超過額	3,281
未収入金	144	消費収支差額の部 合計	3,281
仮払金	3		
前渡金	5		
修学旅行費等預り預金	380		
前払金	33		
資産の部 合計	37,494	負債の部・基本金の部及び 消費収支差額の部 合計	37,494

### 2.2 消費収支決算書要約(江戸川学園全体)

(単位:百万円)

〔消費収入の部〕	比率	〔消費支出の部〕	比率
学生生徒納付金	5,460 77.3%	人件費	3,584 57.9%
手数料	121 1.7%	教育研究経費	1,939 31.3%
寄付金	24 0.3%	(内減価償却額)	(802) (12.9%)
補助金	1,252 17.7%	管理経費	571 9.2%
その他の収入	209 3.0%	(内減価償却額)	(59) (1.0%)
帰属収入 合計 (A)	7,066 100.0%	その他の経費	101 1.6%
基本金組入額	367	消費支出 合計 (C)	6,195 100.0%
消費収入の部 合計 (B)	6,699	当期収支差額 (B-C)	504
		前年度繰越消費収入超過額	2,598
		基本金取崩額	178
		翌年度繰越消費収入超過額	3,281

## 2.3 資金収支決算書要約(江戸川学園全体)

(単位:百万円)

〔収入の部〕		〔支出の部〕	
学生生徒納付金収入	5,460	人件費	3,557
手数料収入	121	教育研究経費支出	1,137
寄付金収入	21	管理経費支出	510
補助金収入	1,252	施設関係支出	960
資産運用収入	15	設備関係支出	200
資産売却収入	6	資産運用支出	855
事業収入	120	その他の支出	112
雑収入	74		
前受金収入	1,069		
その他の収入	1,198		
資金収入調整勘定	1,333	資金支出調整勘定	106
前年度繰越支払資金	8,544	次年度繰越支払資金	9,322
収入の部 合計	16,547	支出の部 合計	16,547

## 2.4 消費収支決算書要約(江戸川大学)

(単位:百万円)

〔消費収入の部〕		比率	〔消費支出の部〕		比率
学生生徒納付金	2,121	86.6%	人件費	1,063	51.2%
手数料	23	0.9%	教育研究経費	813	39.1%
寄付金	16	0.7%	(内減価償却額)	(238)	(11.5%)
補助金	261	10.7%	管理経費	185	8.9%
その他の収入	28	1.1%	(内減価償却額)	(34)	(1.6%)
			その他の経費	16	0.8%
帰属収入 合計 (A)	2,449	100.0%	消費支出 合計 (C)	2,077	100.0%
基本金組入額	228		当期収支差額 (B-C)	144	
消費収入の部 合計 (B)	2,221		前年度繰越消費収入超過額	753	
			内部勘定支出	2	
			翌年度繰越消費収入超過額	895	

## 2.5 資金収支決算書要約(江戸川大学)

(単位:百万円)

〔収入の部〕		〔支出の部〕	
学生生徒納付金収入	2,121	人件費	1,055
手数料収入	23	教育研究経費支出	575
寄付金収入	16	管理経費支出	151
補助金収入	261	施設関係支出	944
資産運用収入	2	設備関係支出	125
事業収入	9	資産運用支出	170
雑収入	16	その他の支出	51
前受金収入	418		
その他の収入	847		
資金収入調整勘定	507	資金支出調整勘定	64
前年度繰越支払資金	2,287	次年度繰越支払資金	2,486
収入の部 合計	5,493	支出の部 合計	5,493

## 2.6 消費収支決算書要約(江戸川短期大学)

(単位:百万円)

〔消費収入の部〕			〔消費支出の部〕		
		比率			比率
学生生徒納付金	312	83.2%	人件費	232	55.9%
手数料	1	0.3%	教育研究経費	161	38.8%
寄付金	0	0.0%	(内減価償却額)	(68)	(16.4%)
補助金	61	16.3%	管理経費	22	5.3%
その他の収入	1	0.3%	(内減価償却額)	(9)	(2.2%)
			その他の経費	0	0.0%
帰属収入 合計 (A)	375	100.0%	消費支出 合計 (C)	415	100.0%
基本金組入額	14		当期収支差額 (B-C)	54	
消費収入の部 合計 (B)	361		前年度繰越消費収入超過額	628	
			内部勘定収入	2	
			翌年度繰越消費収入超過額	576	

## 2.7 資金収支決算書要約(江戸川短期大学)

(単位:百万円)

〔収入の部〕			〔支出の部〕	
学生生徒納付金収入	312		人件費	227
手数料収入	1		教育研究経費支出	93
寄付金収入	0		管理経費支出	14
補助金収入	61		借入金等返済支出	0
資産運用収入	0		施設関係支出	0
事業収入	0		設備関係支出	18
雑収入	0		資産運用支出	0
前受金収入	0		その他の支出	10
その他の収入	13			
資金収入調整勘定	90		資金支出調整勘定	5
前年度繰越支払資金	1,162		次年度繰越支払資金	1,102
収入の部 合計	1,459		支出の部 合計	1,459

学校法人江戸川学園法人事務局

江戸川大学・江戸川短期大学学報第21号

平成18年6月1日発行

編集・発行 江戸川大学・江戸川短期大学事務局総務課  
〒270-0198 千葉県流山市駒木474 TEL.04-7152-0661(代)

この4月は新棟への移転や、新体制の実施等が重なり、慌しく過ぎました。新緑が青々とした頃になって、ようやくキャンパスも落ち着きを取り戻し、学校全体がほっと一息をついているようです。新体制は産声をあげたばかり。まだまだこれからが楽しみです。